



介護は進む 日本を変える！

～2025 社会保障大改革は、現場の力で～

平成27年度 関東ブロックカンントリーミーティング (in 千葉)

財政健全化のもと、「骨太の方針 2015」では、毎年1兆円ずつ伸びる社会保障費を半減させ、3年間で1.5兆円に抑える目安を掲げています。すなわち年あたり5千億円の削減と同義となる大改革を前に、私たち介護現場の当事者世代が何をなすべきでしょうか。

介護保険制度導入から15年。政府は当座しのぎの介護報酬削減を繰り返してきたものの、もはや社会保障給付費抑制には効果が見込めない局面にまで及んでいます。

全国老施協が支える利用者100万人の暮らしをまもるために、私たち自身が現実に向き合い、国民の声を代弁することによって、あるべき社会保障制度改革を導かなければなりません。

14年に渡って現場の声を集積し、課題に向き合ってきた「21世紀委員会・カンントリーミーティング」は、我が国介護・福祉のこれからを担うリーダーが集う発信の舞台です。当事者としての責任をもって時代に応え、介護現場から日本をつくる原動力を生み出すべく、皆さまのご参集をお願いいたします。

☆全国老施協【重点課題】

1. 介護保険制度の見直し及び介護報酬改定への対応
2. 地域包括ケアシステムの推進役としての機能発揮
3. 介護人材の確保等に係る対応
4. 社会福祉法人制度改革への対応

1. 主催 公益社団法人全国老人福祉施設協議会・関東ブロック老人福祉施設協議会
2. 企画運営 全国老施協21世紀委員会・関東ブロックカンントリーミーティング実行委員会・千葉県21世紀委員会
3. 開催日 平成27年9月24日(木)～25日(金)
4. 会場 京成ホテルミラマーレ
TEL: 043-222-2111
5. 参加対象・定員 関東ブロック内高齢者福祉施設に勤務する者(300名程度)
6. 参加費 ￥15,000 (資料・情報交換会費等含む)
7. プログラム (時間については若干変更する場合があります)

《1日目》

12:30	13:00	13:10	13:20	14:15	14:30	17:50	18:30	20:00	
受付	開会	趣旨説明	全体会		移動・休憩	分科会		休憩	情報交換会
			①基調報告・②課題提起			③グループディスカッション			

《2日目》

9:00	10:00	10:20	11:50	12:00
全体会				閉会
④総合ディスカッション (分科会報告:30分 全体討議:30分)		休憩	④ブロック独自企画 (特別講演 淑徳大学結城康博教授)	

8. 内 容

- ① 趣旨説明 : 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 21 世紀委員会
- ② 基調報告・課題提起 : 公益社団法人全国老人福祉施設協議会
- ③ 分科会

[分科会テーマ]

(1) “2018報酬・制度大改革”に向けて～カイゼン(効果・効率・向上・成長)

社会保障制度を将来的に持続可能な制度としていくには、今の報酬改定の削減という当座しのぎを繰り返すのではなく、現場から効率的・効果的な介護保険制度のあり方を考えていかなければならない。

今年度の介護報酬改定の影響を分析し、利用者・家族・従事者等の介護・福祉を守り、中長期的に地域の安心を構築するビジョンを打ち出す。

- (例)・医療と介護、施設サービスと在宅サービスにおける負担と給付を考える
- ・経営実態に即した財務情報の開示と国民に理解と納得が得られるエビデンスを提案する
 - ・効果的かつ効率的な人員配置・勤務シフト(職務分掌・役割分担)を考える
 - ・ICT・介護ロボット等を活用した情報伝達・共有、業務重点化を考える

(2) 介護が描く“新時代の地域・暮らし・福祉”づくり～現場発「まち・ひと・しごと創生」

一極集中傾向が進む都市部、限界集落となる中山間地域など、地域の抱える課題は様々であるが、地域包括ケアの実現には、医療・介護関係者の協力は勿論のこと、地域の人的資源をフル活用し、私たちが地域力の基盤を整え、底上げに向けて、地域福祉の中核的位置づけを担っていかなければならない。

私たちが描く「まち・ひと・しごと創生」を考える。

- (例)・官民協働・地域連携を深く、強くしていくための情報共有方法を考える
- ・地方経済活性化におけるセーフティーネットとしての自覚と実践方法を提案する
 - ・一人ひとりのニーズをシームレスに支える“地域医療介護提供体制”の構築
 - ・他分野からの参入を促す環境整備をし、介護の魅力を拡大・拡散していく施策を提案する
 - ・福祉の実践から地域のあらゆる困窮と向き合う(生活支援・相談・措置・居住その他)

(3) もっと良くしよう「日本式KAIGO」～“介護の誇り”を日本へ・世界へ伝えたい

24時間365日、チームで支える「日本の介護」は、認知症ケアや看取りを含め、一層高度かつ多様な機能と効果を備えてきた。

日常行っている業務を改めて振り返り、施設・事業所での取組や「日本の誇れる介護」をより進化させ、海外も含め多方面にPRしていく方法を考える。

- (例)・認知症ケアに関する正しい知識を普及していく方法を提案する
- ・中重度介護者に向けたケア力を発揮していくには
 - ・個々の能力を発揮するチームケア、人材育成、施設運営を考える
 - ・介護予防、自立支援の徹底による在宅介護における限界の延伸を考える

(1)分科会は、テーマ毎に大別して設定します(介護・経営等の大別は問いません)。申込用紙のいずれかの選択欄に○印をご記入ください。

(2)上記のうち、ご希望のディスカッションテーマの中から、分科会をお申し込みください。事務局にてグループ分け(テーブル分け)をさせていただきます。

(3)お申込みの状況により、ご希望のテーマどおりのグループ分けが出来ない場合があります。その場合は別途ご連絡させていただきますので、予めお含みおきください。

(4)ご参加いただく分科会については、当日配布資料「カントリーミーティング要覧」にてお知らせいたします。

【 情報交換会 】

1日目のプログラム終了後(18:30～)、全国老施協役員、他県からの参加者の皆さんはじめ多くの方々と情報交換・ネットワークづくりを図る場として情報交換会を設定しています。

費用は参加費に込みとなっておりますので、必ずご参加ください。

【 2日目:全体会 】

④ 総合ディスカッション(分科会報告)

初日の各分科会での議論内容をとりまとめ、それぞれ報告を行います。
続いて、全体討議として、参加者全体からの質疑・応答を行います。

⑤ ブロック独自企画(特別講演)

講師:淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科 教授 **結城 康博** 氏

演題:『地域包括ケア時代における老人福祉施設の役割とは(仮)』

9. 参加申込方法

別添【参加(交流会)・宿泊等のご案内】をご参照のうえ、平成27年8月28日(金)までに直接「京成トラベルサービス(株)千葉支店」宛にお申し込みください。また、その際、「参加者事前アンケート」につきましても、必ずご回答ください。

10. 個人情報の保護について

お申込により知り得た個人情報(氏名、年齢、住所、連絡先等)については、個人情報保護法に基づき、カントリーミーティング運営業務(参加者への連絡、参加券の送付、参加者名簿の作成等)以外には使用しません。

11. 事務局

○一般社団法人 千葉県高齢者福祉施設協会 (担当:川島)

〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3

TEL:043-244-6021 / FAX:043-244-6022

○公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 (担当:伊藤)

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-1 塩崎ビル

TEL:03-5211-7700 / FAX:03-5211-7705

※別紙「参加・宿泊申込」にてお申し込みください。(8/28〆切)